

ドーピングとスポーツの価値

今回の学習内容

オリンピックなどの大きな世界大会が行われるたびに、ドーピング違反で「メダル^{はくだつ}剥奪」などというニュースを耳にします。このようなニュースを聞くと「何で?」とか「またか!」という気持ちになります。今回はドーピングとはどういうことなのか、どうして行われ続けているのか、その行為がスポーツの持つ価値をゆがめてしまうことにつながるなどについて前回に続きゲスト講師の大日方邦子さんと一緒に考えていきましょう。

ゲスト講師
大日方邦子

冬季パラリンピック
アルペンスキー金メダリスト

講師
杉山正明

(学習メモ執筆)

壇蜜 先生

ドーピングとは

ドーピングというのは「競技能力を高めるために、薬物を使用したり、それらの使用を隠したりして、意図的に自分だけが優位に立ち、勝利を得ようとする行為」のことをいいます。

ドーピングとはもともとは麻薬や興奮剤の使用を意味していましたが、科学や医療の進歩とともに多岐にわたるようになりました。薬物によって筋力や持久力を高める以外に、血液を操作したり、検体となる尿の質を変えたり、尿をすり替えたりということもあります。

なぜドーピングが行われるのか

いまだにドーピングがなくならない背景として大きいものにスポーツとビジネスが結びついているということが挙げられます。「見るスポーツ」の発展により、ビジネスチャンスが拡大し、スポンサーが勝利した選手にばく大な賞金を支払うようになり、その結果「勝利至上主義」に走る選手が後を絶たなくなったのも要因として挙げられます。

オリンピックやパラリンピックに出場する選手としては、フェアな状態をみんなで作ること、アスリートとして大切にすることがアンチ・ドーピング活動となります。

スポーツの価値

オリンピック・パラリンピックに出場する選手には「ドーピング検査」が義務づけられています。この検査は大会期間中だけではなく、練習している期間にも行われます。いつでも、どこでも検査を受けなくてはならず、「抜き打ち検査」などを選手たちは何回も受けます。アスリートとしてやっていく中で、スポーツがクリーンであること、フェアな状態であることをみんなでがんばって作っていくことが必要です。ドーピング行為は、「フェアなスポーツの精神に反する行為」であり、スポーツの持つ価値を失わせる行為です。

【参考資料】

■ドーピングの語源

大昔、狩りや戦いの際に、恐怖心や眠気を無くすために、人々は、木の根や葉、キノコなどを口にしたり、疲労回復のために強い酒を飲んだりしたとされています。このことから、ドーピングとは、もともとは麻薬や興奮剤の使用を意味していました。「ドーピング」の語源は、一説には、アフリカ南部のズールー族が、お祭りや戦いのときに飲んだ酒「dop」だと言われており、この「dop」が広く興奮性の飲料のことを指すようになったようです。

■ドーピング行為の問題点

1つ目は、ドーピングは本来の力以上のものを薬物にたよって発揮する行為であり、フェアなスポーツ精神に反する不正行為と考えられるという理由です。

2つ目として、一流の競技者の行動は社会に大きな影響を与えています。薬物を使ってトップアスリートの地位を得たとしたら、それは子どもたちにも正しいものとしてうつってしまいます。ですから、社会に大きな影響力をもつ競技者のドーピングは禁止されなくてはならないと考えられます。

3つ目は、副作用などの観点から、使用する選手の健康に危害を与えるということです。死亡事故まで起きてしまっていることもあり、特に成長過程である高校生や中学生に対しては、健康を損ねるということでこれを禁止することは特に必要です。

■オリンピック・パラリンピックの価値

1) オリンピックの3つの価値

- 卓越 (Excellence) : 目標に向かって全力を尽くすこと。
- 友情 (Friendship) : 友情を育み交流すること。
- 敬意 / 尊重 (Respect) : 互いに尊重し、敬意を払うこと。

2) パラリンピックの4つの価値

- 勇気 (Courage) : 身体の限界に挑み、世界にパフォーマンスを見せること。
- 強い意志 (Determination) : 個別の精神的・身体的な強さを持っていること。
- インスピレーション (Inspiration) : スポーツを通して障害に対する差別や社会的な壁を崩すこと。
- 公平 (Equality) : 能力を最大限に生かしてスポーツに参加するロールモデルのこと。

